

【授業科目】 特別研究Ⅱ (在宅看護学)

Master's Thesis II

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
多次 淳一郎、杉崎 一美	2年次前期	選択	3	90	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	在宅看護学領域における関連の文献のクリティークを通して自分の焦点化した研究課題を明確にし、文献の批判的検討を深め、研究計画書を作成する。 研究計画書については時間内に複数回の発表を行い、出席者の批判を仰ぐものとする。 研究計画書の作成過程では、倫理的問題も検討し、さまざまな基準から、倫理的問題について対処できるものを作成する。 課題に対するフィードバック方法/スーパーバイズを適宜実施する。討議やプレゼンテーションを通してコメントを行う。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 焦点化した課題に関する文献検討を行い、研究課題に関して深める。 2. 研究課題を解明するため適切な研究方法を選択し、倫理的配慮を含めた研究計画書を作成できる。 3. 倫理委員会申請に必要な書類を作成し、所定の手続きを実施することができる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む(5~8時間)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	<p>第1~7回 研究課題の検討 研究課題に関する文献検討をさらに重ねて、研究背景を明らかにする。</p> <p>第8~15回 研究方法の検討 1) 探究したい研究デザインについての検討 2) 探究したい現象についてのデータ収集方法の検討 3) 探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討 4) 探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 (質問項目作成、インタビューガイド作成などのプレテスト)</p> <p>第16~35回 研究計画書の作成 1) 研究課題・研究背景(先行研究・文献検討、研究枠組み等) 2) 研究の目的・意義 3) 研究方法/研究デザイン・データ収集の方法・期間・データ分析の方法 (アンケート、インタビューガイド作成等の作成も含む) 4) 安全性の確保(予想される有害現象と対策) 人権・プライバシー保護に関する配慮 5) 研究依頼に関する検討 (研究協力者・施設長への依頼文書の作成等も含む)</p> <p>第36~45回 倫理審査委員会提出書類の作成・申請手続き(機関・施設の基準に準拠する)</p>					全て、 多次 杉崎
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。					
教科書	なし		参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。		